

各 位

平成 19 年 4 月 24 日

会社名 森永製菓株式会社
 代表者名 代表取締役社長 矢田雅之
 コード番号 2201
 上場取引所 東証（市場第 1 部）
 問合わせ先 広報・IR 部長 新井 徹
 （TEL 03 - 3456 - 0112）

平成 19 年 3 月期業績予想の修正及び平成 20 年 3 月期業績予想のお知らせ

1 . 平成 19 年 3 月期の業績予想修正

平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 18 年 11 月 21 日の中間決算発表時に公表しました連結及び単独の業績予想を下記のとおり修正いたします。

連結

（イ）通期の業績予想の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想（A）	百万円	171,900	8,200	4,300
今 回 修 正 予 想（B）	百万円	167,230	5,730	3,230
増 減 額（B - A）	百万円	4,670	2,470	1,070
増 減 率	%	2.7	30.1	24.9
（ご参考）前期実績（平成 18 年 3 月期）	百万円	170,920	8,793	2,818

（ロ）上記修正の理由

売上高は、主力の食料品製造事業において、冷菓部門が好調に推移したものの、菓子、食品、健康部門で主力ブランドが伸び悩んだことにより、全体で 1,672 億 3 千万円と前回予想を 46 億 7 千万円（2.7%）下回る見込みであります。

損益面では、売上高の減少やプロダクトミックスの悪化、原材料価格の高騰などにより、経常利益は 57 億 3 千万円と前回予想を 24 億 7 千万円（30.1%）下回り、当期純利益は 32 億 3 千万円と前回予想を 10 億 7 千万円（24.9%）下回る見込みであります。

単独

(イ) 通期の業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円	151,400	7,800	4,300
今 回 修 正 予 想 (B)	百万円	146,715	5,239	2,993
増 減 額 (B - A)	百万円	4,685	2,561	1,307
増 減 率	%	3.1	32.8	30.4
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	百万円	151,759	7,917	3,409

(ロ) 上記修正の理由

上記連結で記載した内容と同理由により、売上高は 1,467 億 1 千 5 百万円と前回予想を 46 億 8 千 5 百万円 (3.1%) 下回る見込みであります。

経常利益は 52 億 3 千 9 百万円と前回予想を 25 億 6 千 1 百万円 (32.8%) 下回り、当期純利益は 29 億 9 千 3 百万円と前回予想を 13 億 7 百万円 (30.4%) 下回る見込みであります。

なお、期末配当金につきましては、平成 18 年 11 月 21 日の中間決算発表時に公表しましたとおり、1 株あたり 6 円を予定しております。

2. 平成 20 年 3 月期の業績予想

連結

平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	85,800	2,900	1,400
通期	173,400	6,500	3,250

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期）12 円 04 銭

単独

平成 20 年 3 月期の業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	一株当たり年間配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	74,400	2,170	1,140	0.00	-	-
通期	152,000	6,000	3,200	-	6.00	6.00

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期）11 円 86 銭

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

平成 20 年 3 月期につきましては、引き続き市場競争の激化が見込まれ、原材料価格高騰とあわせて経営環境はより厳しくなるものと予想されます。

このような状況下において、さらなる企業力強化を図るべく、消費者のニーズを的確に掴みながら、主力ブランド群を軸とした幅広い商品戦略や、チャネル別の戦略強化による売上規模の拡大を図ってまいります。また、生産の合理化・効率化によるいっそうの収益力向上を図ることを目的に、工場再編も視野に入れながら段階的に生産体制新構築を進めてまいります。さらに、生産部門のローコストオペレーション、サプライチェーンマネジメントの強化による経営の効率化をいっそう推進してまいります。

こうしたなかで、中長期的な収益力・企業力拡大に向けた、設備、IT 分野、人材、新規事業に対する積極的な投資を引き続き実施し、将来にわたる事業基盤の強化を図ってまいります。

以上により平成 20 年 3 月期連結業績の見通しにつきましては売上高 1,734 億円（前年同期見込比 3.7%増）、経常利益 65 億円（前年同期見込比 13.4%増）、当期純利益 32 億 5 千万円を予想しております。

なお、平成 20 年 3 月期の期末配当金につきましては、1 株につき 6 円を予定しております。

以上